

<芦原地区共生のまちづくり計画>

芦原地区第8次福祉計画は、住民誰もが支え合いながら、豊かに暮らすことのできる、まちづくりをめざします。2010年から始まった第7次計画では、ボランティアセンターの開設を実現し活動を展開してきましたが、まだ多くの継続課題があります。現在、登録ボランティアの高齢化が大きな課題となっています。第8次計画では、地域の支援ニーズを受け止め、様々な団体や専門職とも協働・連携しながら活動していきます。その活動の楽しさを地域の人たちに伝えながら、新たなボランティアの拡充につなげていきたいと思ひます。

芦原地区ボランティアセンター「ふるさと」

☆場所 芦原デイサービスセンター2階 相談室

☆開催日時 毎週水曜日 9時～12時

☆登録ボランティア数 14名

☆最近のボランティア活動内容

- ・高齢者宅へ訪問しお話し相手
- ・障害のある人と電話でお話し
- ・父子家庭幼児の保育園への送迎
- ・高齢者の通院時、車までの移動を支援
- ・公民館講座時の託児

☆活動の状況

高齢者あんしん窓口や、市社協相談支援窓口等との連携でボランティアニーズが増加しており、見守りや相談支援の一翼を担っている。

いきいきサロン「わかたけ」

☆場所 若竹生活文化会館2階

☆開催日時 第3水曜日 1時30分～3時

☆登録ボランティア数 10名

☆最近のボランティア活動内容

- ・カラオケ大会
- ・折り紙
- ・カルタ遊び
- ・ビデオ鑑賞
- ・小物作り
- ・茶話会

☆活動の状況

地域住民の生きがい作りや、社会参加の場として誰もが気楽に集える憩いの広場を開催している。毎回20名～30名の参加者があり、皆で懇談しながら楽しんでいる。青葉園通所者も必ず参加し、楽しく交流を深めている。

老人給食「ことぶき会」

☆場所 若竹生活文化会館2階

☆開催日時 第2火曜日 12時～1時

☆登録ボランティア数 23名

☆活動内容

芦原地域在住で満70歳以上の高齢者を対象とした給食会を、ボランティアグループ「あじさい会」「ゆうぜん会」の協力で実施している。

☆活動の状況

登録者50名、毎回の参加者が35名～45名で、おしゃべりしながら季節の味を味わい、食後は簡単なゲームを行ったり、誕生月の参加者に花をプレゼントしている。最近、男性の参加者が増えている。

広報紙「ふるさと」

☆発行月 年2回発行 (5月 11月)

☆配布対象 芦原地区全戸

☆最近の記事内容

- ・行事報告
- ・ふれあいいきいきサロンの案内・報告
- ・ボランティア募集

☆活動の状況

芦原支部の活動案内・報告、また地域福祉啓発や情報提供を目的として発行している。企画・編集作業が長年同じメンバーで行われており、記事に新鮮味がなくなっている。また行事案内より事後の報告が中心とした紙面となってしまう。

☆第8次計画の活動課題

一人で来所することが難しくなった人なども含め、地域のより多くの人たちと、もっと身近なところで関係を深めるため、若竹生活文化会館以外の場所で、少人数で集うティーサロンの開設をめざす。

☆第8次計画の活動課題

ボランティアの高齢化が進んでおり、地域住民の集う場として未長く開催していけるように、ボランティアを募集していく。

第8次計画の活動課題

より読みやすい紙面作りをめざし、企画・編集作業を担当するメンバーを増やし、芦原地区の地域福祉に関するトピックスなどを掲載していく。

☆第8次計画の活動課題

利用ニーズの増加に対応できるように新たなボランティアの登録を呼びかけ育成していく

地域の多くの人に、ボランティアセンターの活動を継続して広報し、気軽に利用や相談をしてもらう

専門機関や専門職とより連携し、支援の必要な人の見守りや、相談にのるような活動を推進する

芦原支部各活動と地域関係団体との協働・連携で
住民一人ひとりの安心と豊かな生活につなげる

芦原地域共生の輪作り

地域福祉講座

介護者の集い

郷土盆踊り等地域行事

障がいを持つ人たちとの懇談会

見守り活動

高齢者あんしん窓口

市社協各相談窓口

民生委員・児童委員

地域内各関係団体

地域関係団体等との協働・連携強化（見守り活動・相談支援の仕組み作り）